

地域ネットワークニュース

～平成28年7月の勉強会のお知らせ & 6月の勉強会報告～

第222回 地域ネットワーク勉強会

障害者の就労支援のポイントと職業評価

講師：茨城障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 石井賢治 氏

7月21日(木)

午後1時30分～

午後3時30分

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料



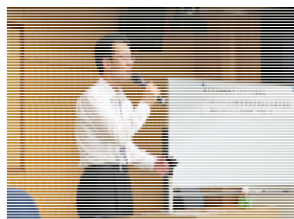
現在、障害者総合支援法に基づく就労支援事業は、障害者の雇用促進と就労機会確保の点から注目されておりその利用者数・事業所数は年々増加傾向にあります。この事業は、様々な訓練を通じて就労を希望する障害者に必要な技術や知識を習得させるとともに、障害者雇用を含めた一般就労等への支援をするものです。

就労支援事業所は、障害者個々の特性や就労希望等を把握し、本人の適性や能力が発揮しやすい職場適応を見極める“就労アセスメント”を行い、個別の支援計画を作成した上で支援します。そのため、障害者の充実した就労には、適性や働くための力を知る“職業評価”がとても重要です。

今回の勉強会では、茨城障害者職業センターで実施している職業評価の方法やその内容について説明していただきます。就労アセスメントや支援計画作成でお悩みの障害者支援事業所の担当者は、ぜひご参加下さい。

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第221回 地域ネットワーク勉強会報告 平成28年6月29日開催
＜参加者15名＞

ハローワークの障害者就労支援と他機関連携

講師：ハローワーク常陸鹿嶋 平間慎一 氏

障害者の求職申込みと実際に就職に結び付いた件数は10年前と比較すると約2倍に増加しています。これは国の定める障害者雇用促進法の施策の改正と合わせて、障害者の仕事への関心の高まりが伺える結果となっています。鹿行地区を管轄するハローワーク常陸鹿嶋でも平成28年4月時点で求職登録している障害者は165名となっており、内就職に結び付いた方は23名となっています。

障害者の就労は就職すること以上に就職後の継続・定着が重要です。そのため、ハローワークでは求職相談の段階から、本人の特性や興味・関心、配慮を要することなどの聞き取りを丁寧に行います。必要に応じて障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターなどと連携し、職業評価や適性を見極め、求職者本人と一緒に相談しながら充実した職業生活を送れるように継続した支援を実施しています。

「ハローワークは障害者にとって‘敷居が高い’と思われるがちですが、仕事に関する相談であれば気軽に相談してほしいです。」と締めくくられ、身近な障害者の就労相談窓口としての機能を再確認する機会となりました。